

# Tokyo

東京都美術館

# Metropolitan

アートへの入口

# Art

心のゆたかさの拠り所

# Museum

ご利用案内

【開館時間】

9:30-17:30

\*特別展開催中の金曜日は9:30-20:00

\*いずれも入館は、開館時間の30分前まで

【休室日】

特別展・企画展：毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

上記以外の展覧会：第1、第3月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

【全館休館日】

毎月第1、第3月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

毎半年休

\*この他、工事等に伴う臨時休館、臨時休室日があります。

【アクセス】

・JR「上野駅」公園口より徒歩7分

・東京メトロ丸根線・日比谷線「上野駅」7番出口より徒歩10分

・京成電鉄「京成上野駅」より徒歩10分

\*駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮ください。



東京都美術館  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

Photo: Sadami SAITO



# 新印象派 ― 光と色のドラマ | Neo-Impressionism, from Light to Color

2015年1月24日(土) ― 3月29日(日)  
東京都美術館 [東京・上野公園] 企画棟 企画展示室

東京都美術館  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM  
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 Tel.03-3823-6921  
http://www.tobikan.jp Twitter:tobikan\_jp Facebook:TokyoMetropolitanArtMuseum  
発行日:2015年(平成27)年1月23日 発行:東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
デザイン:近藤一弥 印刷:株式会社オウエ印刷  
©2015 Tokyo Metropolitan Art Museum



ジョルジュ・スーラ(セーヌ川、クールブヴァーにて) 1885年 個人蔵 ©Droit Réservé

## Special Interview

### ◎インタビュー:大空祐飛 [女優] | Yuhi Ozora

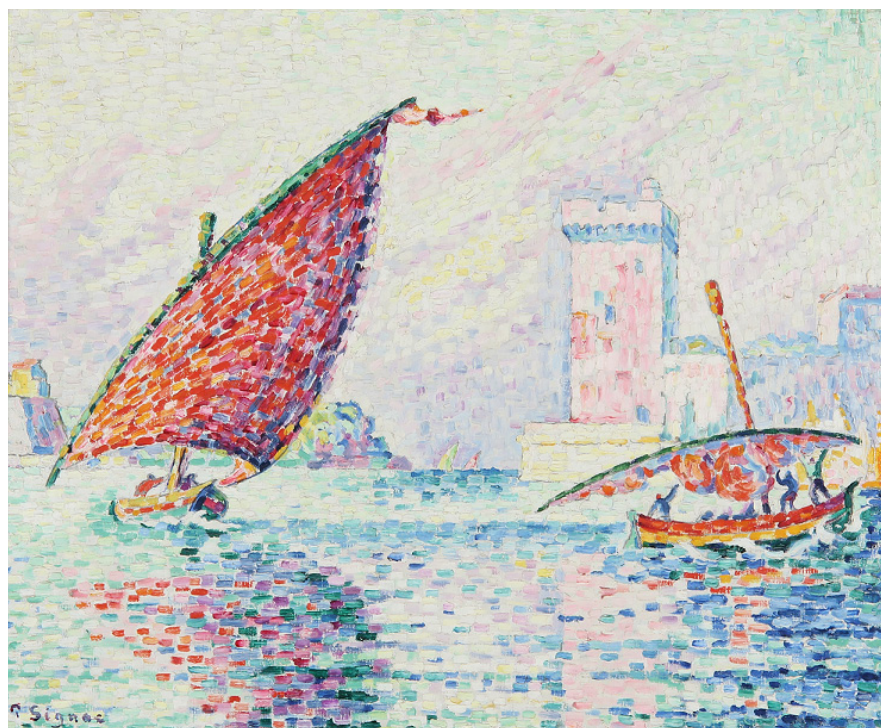
舞台上で培った表現力でスーラやシニャックの時代へと誘います



休日には、散歩のような気持ちでふらっと美術館に行くことが多いという大空祐飛さん。小学生のころに一人で体験した“美術館デビュー”は、東京都美術館だったそうです。宝塚歌劇団・宙組トップスターを務めた後、舞台などへ活躍の場を広め、多くの人々を魅了し続けています。その祐飛さんが、東京都美術館で開催中の特別展「新印象派―光と色のドラマ」の音声ガイドのナビゲーターに登場。本展覧会の印象やエピソードなどをおうかがいしました。

混ぜないことで生まれる光や色の表現から発せられる  
自然なやわらかさに興味を覚えました

―「新印象派―光と色のドラマ」展をご覧になられていかがでしたか?  
これまでにさまざまな絵画や写真などをみてきましたが、新印象派の作品をじっくりみたことは、今までありませんでした。今回、新印象派の絵画を通して、絵画がただアートというだけではなく、科学的理論や色彩理論的なものを取り入れて芸術をつくっているのを初めて知り、たいへん驚きました。絵画を近くで見ると、少し離れて遠くからみるのとでは印象が大きく変わったり、絵具を混ぜないことで光が見えたり、強すぎる色が抑えられたりするとともに興味を覚えました。



ポール・シニャック《マルセイユ、釣舟》または《サンジャン要塞》1907年 油彩、カンヴァス 50.5×61.5cm  
アンシアド美術館、サントロペ Collection Musée de l'Annonciade, Saint-Tropez / Photo P.S. Azema

―祐飛さんお気に入りの1点を教えていただけますか?  
舟が描かれた絵画がいくつかありましたが、その中でも会場の終盤に展示されているポール・シニャックの《マルセイユ、釣舟》という絵画です。パステル調の海がものすごくやわらかい感じで描かれているのが好きです。点描で木々や人を表現するのはなんとなく、イメージできます。でも、海の色を点描技法で表現すると、他の手法では表現ができないようなやわらかさが出ています。そこが好きですね。

「新印象派」の時代にナビゲート  
スーラやシニャックと一緒にいるように感じてほしい

―音声ガイドの制作時のエピソードを教えてくださいませんか?  
この音声ガイドは、単なる絵画の説明ではなく、スーラであったり、シニャックであったり、彼らの言葉もご紹介しています。舞台や芝居をしている私にとって、台詞が入っていることがとても馴染みやすく、収録にすごく楽しく臨むことができました。もともと絵画をみるのは好きですが、新印象派や美術の勉強をしていたことはありませんので、

小さな点に秘められた、画家たちの物語。

本展は、20世紀へつながる絵画の革新を推し進めた運動のひとつ、「新印象派」に注目し、その誕生からの約20年間の流れを時間軸に沿ってご紹介するものです。新印象派の登場は、1886年、最後となる第8回印象派展においてでした。印象派は、揺れる水面や陽光のうつろいなど、自らの目に映る世界を描き出そうとし、それに相應しい様式を作り出しました。その明るい画面を作り出す様式を、新印象派は最新の光学や色彩理論を援用して発展させていきます。そして、目に見える世界をそのまま再現することよりも、色彩そのものもつ表現力へと関心を移していき、20世紀初頭のフォーヴィスム誕生への源泉になりました。本展では、印象派のモネの作品から始まり、スーラ、シニャックによる新印象派初期の作品、その後フランスやベルギーで次々と生み出された多様な新印象派の作品、さらにマティス、ドランの色彩溢れる作品をご紹介します。スーラの描いた静かで小さな点が、マティスのダイナミックで強い色彩の表現へ至るまでの変化の軌跡を、世界各国から集結する約100点でたどります。

#### Exhibition Outline

Neo-Impressionism—one of the innovative art movements that propelled painting into the 20th century—is revisited by this exhibition through a chronological exploration of the first nearly twenty years that followed its emergence in 1886 at the Eighth Impressionist Exhibition. Where the Impressionists had ushered in a new style of painting to capture the natural world as it appeared to their eyes, vividly evoking shifting images such as rippling water and the play of sunlight, the Neo-Impressionists branched out by bringing in the latest knowledge in optics and color theory. At the same time, they shifted the emphasis away from faithfully re-creating the world to tapping into the power of expression of the colors themselves, and in so doing they set the stage for the advent of Fauvism at the dawn of the 20th century. The journey taken by this exhibition begins with Impressionist paintings by Monet, and then progresses to the early Neo-Impressionism of artists such as Seurat and Signac, the diverse Impressionist works that subsequently streamed forth in France and Belgium, and finally the brilliant hues put to canvas by Matisse and Derain. All together, some 100 works are brought together from across the globe to trace the fascinating transition from Seurat's diminutive, subdued dots of paint to the bold, dynamic colors of Matisse.

この時代の新印象派の画家たちをきちんと伝えることができるように美術書を読んだりしました。それが新印象派の知識として希薄にならないように、自分の実感のこもった言葉として発せられるように、1点1点の絵画をみながら収録をしました。

―心にグツときた、印象的な言葉はありますか?  
音声ガイドの最後の方に出てくる言葉が心に残っています。「もう一度、光に酔いしれましょう。光は心を癒してくれます。」という、スーラの言葉です。芸術家として何を伝えたかったのかというのは、光で人を酔わせる、何かを与えたいというのがテーマだったのかなという答えを見出すことができました。音声ガイドには、彼らが実際に中間の作品をみて、その感想を息子に送った手紙などの生の言葉が入っていて、とても素敵な構成に仕上がっていると思います。スーラやシニャックが過ごしたその時代に一緒にいるよう、感じていただけたらと思います。

新しい芸術をめざした画家たちのメッセージとともに  
「光と色のドラマ」に出会えます

―最後に、このリーフレットを手にした方へのメッセージをお願いします。  
絵画に色彩理論を取り入れたという、科学と芸術の出会いが新印象派なのかなという印象を持ちました。彼らがその時代に新しい芸術をめざしたエネルギーや、絵画の制作は気が遠くなるような作業だったと思います。けれども、その魂が込められた絵画でありながら、非常に科学的なものがあり、メッセージ性も強く込められています。まさに展覧会のサブタイトルのように、「光と色のドラマ」があるのを感じました。「新印象派展」は、「癒し系」の展覧会です。その中でポール・シニャックの《髪を結う女、作品227》は、少しスバイシーな作品です。恋人の女性に対する、愛の告白のような絵画だと聞き、おもしろいなと思いました。ぜひ、さまざまな絵画のエピソードに触れていただき、たくさんの方にお楽しみいただけたらと思います。



ポール・シニャック《髪を結う女、作品227》1892年 エンコースティック、裏打ちされたカンヴァス 59×70cm 個人蔵 ©Droit Réservé

〇〇「新印象派―光と色のドラマ」音声ガイド  
大空祐飛さんがナビゲーターする「新印象派―光と色のドラマ」の音声ガイドは、展覧会入口にて、有料で貸出しております。所要時間は約30分、当日貸出価格520円(税込)。  
大空祐飛プロフィール  
おおぞら・ゆうひ。女優。元宝塚歌劇団・宙組トップスター。1992年、宝塚歌劇団入団。月組、花組に所属後、2009年宙組トップスターに就任し絶大な人気を誇り、2012年7月、宝塚歌劇団を退団。退団後も意欲的に様々なジャンルの作品に取り組み、演技の幅を広げている。次回作には、主演舞台「死と乙女」が控えている。シアタークリエ(東京:日比谷)にて2015年3月19日(木)から28日(土)まで。



[展覧会基本情報]  
◎新印象派―光と色のドラマ  
2015.1.24(土)―3.29(日)  
東京都美術館 [東京・上野公園] 企画棟 企画展示室  
開室時間:9:30―17:30(入室は閉室の30分前まで)  
夜間開室:毎週金曜日は9:30―20:00(入室は閉室の30分前まで)  
休室日:月曜日  
主催:東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本経済新聞社  
観覧料(税込):一般1,600(1,300)円/学生1,300(1,100)円/高校生800(700)円/65歳以上1,000(900)円  
\*()は20名以上の団体割引/中学生以下無料  
\*身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料  
\*第3水曜日(2月18日、3月18日)はシルバーデーにより、65歳以上の方は無料(混雑が予想されます)  
\*第3土曜・翌日曜日(2月21日、2月22日、3月21日、3月22日)は家族ふれあいの日より、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住)は一般当日料金の半額  
\*いずれも証明できるものをご持参ください  
\*都内の小・中・高等学校の学校教育活動として観覧する場合、引率の教員は無料(事前申請が必要です)  
◎Neo-Impressionism, from Light to Color  
January 24 (Sat)–March 29 (Sun), 2015  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM [TOKYO, Ueno-Park] Special Exhibition Wing  
Hours: 9:30-17:30 (Last admission 17:00)  
Days of Extended Hours: Fridays 9:30-20:00 (Last admission 19:30)  
Closed: Mondays  
Organized by: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture), Nikkei Inc.  
Admission: General ¥1,600 / College students ¥1,300 / HS students ¥800 / Seniors 65+ ¥1,000  
\*Admission free for visitors junior high school age or younger  
\*Admission free for visitors (and one accompanying person) with a Physical Disability Certificate, Intellectual Disability Certificate, Rehabilitation Certificate, Mental Disability Certificate or Atomic Bomb Survivor's Certificate  
\*Admission free for seniors 65+ on Silver Day every third Wednesday of month (February 18 and March 18)  
\*Crowds are expected on this day. Please allow sufficient time for your visit.  
\*Admission half price for guardians accompanying children under 18 (Tokyo residents only) on Family Day every third Saturday and Sunday of the month  
\*In each case, please show identification

◎第3回 都美セレクション 新鋭美術家 2015  
New-wave Artists 2015—From the Public Entry Exhibition  
2015年2月19日(木)―3月15日(日) ギャラリーC

「公募団体ベストセレクション 美術 2014」展の出品作家の中から、これからの活躍が期待される新鋭作家5名を個展形式で紹介いたします。それぞれの作家の個性あふれる作品をお楽しみください。  
[参加アーティスト] 瀬島匠、高島圭史、高松和樹、田丸稔、山田彩加  
開室時間:9:30-17:30(入室は閉室の30分前まで)  
夜間開室:毎週金曜日は9:30-20:00(入室は閉室の30分前まで)  
休室日:3月2日(月)  
主催:東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
協力:コエドブルワリー  
観覧料(税込):一般500(300)円/65歳以上300円  
\*()は20名以上の団体割引/学生以下無料  
\*同時開催の特別展「新印象派―光と色のドラマ」のチケット(半券可)提示して入場無料  
\*身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料  
\*第3土曜・翌日曜日(2月21日、2月22日)は家族ふれあいの日より、18歳未満未満の子を同伴する保護者(都内在住)は一般当日料金の半額  
\*いずれも証明できるものをご持参ください

◎New-wave Artists 2015—From the Public Entry Exhibition  
This focuses on five up-and-coming artists from the “Best Selection 2014” exhibition held in May 2014 for solo exhibition styles. Please enjoy the individual characteristics of the artists.  
Artist: Takumi Sejima, Keishi Takashima, Kazuki Takamatsu, Minoru Tamara, Ayaka Yamada  
February 19 (Thu)–March 15 (Sun), 2015  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM [TOKYO, Ueno-Park] Gallery C  
Hours: 9:30-17:30 (Last admission 17:00)  
Days of Extended Hours: Fridays 9:30-20:00 (Last admission 19:30)  
Closed: March 2 (Mon)  
Organized by: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)  
Sponsored by: COEDOBREWERY  
Admission: General ¥500 / Seniors 65+ ¥300  
\*Admission free for visitors HS students age or younger  
\*Admission free for visitors (and one accompanying person) with a Physical Disability Certificate, Intellectual Disability Certificate, Rehabilitation Certificate, Mental Disability Certificate or Atomic Bomb Survivor's Certificate  
\*Admission half price for guardians accompanying children under 18 (Tokyo residents only) on Family Day every third Saturday and Sunday of the month  
\*In each case, please show identification

